

2026年度競技関係申し合わせ事項（暫定版）

初版 2026年4月1日
岡山県小連競技委員会

※この競技関係申し合わせ事項は、岡山県小学生バレーボール連盟（以下、県小連）が主管または主催する大会のみ適用する。
全国大会や中国大会など他の大会へ参加する場合は、その主催者の大会要項等に従うこと。

1. 全般

(1) 県小連からの情報収集について

- ① チーム責任者や指導者は、県小連ホームページ（県小連HP）やチーム宛メール等を確認し情報収集に努めること。
- ② 収集した情報は速やかにチーム関係者全員（指導者、保護者）と共有すること。

2. 会場準備について

(1) 会場準備は「別紙 会場準備について」に従って行うこととする。

3. 大会参加について

(1) 大会関連資料の共有と遵守について

- ① 「競技関係申し合わせ事項」、代表者会議の資料や伝達事項、大会当日の監督・保護者代表者会議の伝達事項および大会役員からの状況に応じて発せられる伝達事項は必ずチーム関係者全員で共有し遵守すること。

(2) 大会参加登録のベンチスタッフおよび選手について

- ① ベンチスタッフは4名（監督、コーチ2名、マネージャー）まで、選手は14名までとする。
- ② 監督・コーチは成人であることとし、マネージャーはMRS登録された選手も可とする。

なお、監督不在時はキャプテンが主審に申告することでコーチが代行できる。

- ③ 選手は健康な状態で参加すること。（健康診断書等の提出は不要）
- ④ ギプス着用や松葉づえを利用している選手はベンチ入りできない。

なお、指の固定具の場合はベンチ入りを許可するがコートには入れない。

(3) 県外在住選手の扱いについて

- ① 県小連HP掲載の「他の都道府県在住選手に関する新年度移籍登録選手の確認方法について」に準ずる。

(4) 点示用チームプレートについて

- ① チーム側で用意すること。
- ② A4サイズで白地に黒文字とし、よく見えるように大きな文字を使用すること。
- ③ チームプレートはラミネート加工やクリアファイルに入れ破損に備えること。
- ④ チームプレートは試合前に記録員へ提出し終了後に回収すること。

(5) メンバー表、スターティングラインアップシートについて

- ① チーム側で用意すること。
- ② 混合チームはメンバー表の男子選手にマーカー（色は指定しない）を行うこと。
- ③ メンバー表は、予選日と決勝日にそれぞれ受付で提出すること。

(6) 大会当日のエントリー変更について

- ① 選手の背番号変更のみ認める。「エントリー変更届」を受付で提出すること。

4. 大会会場での注意事項について

(1) ドリンクケース等入れ物の扱い

- ① 入れ物を持ち運び中に劣化等で破損しないよう事前に確認しておくこと
- ② 車輪付き入れ物は車輪についた泥などをきれいにしてから持ち込むこと。
また、フロア内では持ち運ぶこと。

- (2) 大会会場での練習について
 - ①カベ打ちや観客席に向かってボールを打つてのアタック練習はしないこと。
 - ②全チームの練習の場合は、コートを占有しての練習をしないこと。
 - ③別の練習場所用意されている場合は、必ず指導者が付き添い大会役員からの注意事項を守って使用すること

5. 試合について

- (1) 競技フロアへの入場について
 - ①緊急時を除き、役員および参加登録しているベンチスタッフ・選手のみとする。
- (2) 選手のユニフォーム、ベンチスタッフのウェアについて
 - ①県小連HPの「県小連ユニフォーム規定」を遵守すること。
 - ②選手のワイピング用タオルはコート内で最低2名が着用すること。
- (3) 控え選手の待機場所について
 - ①控え選手は空いているベンチに座るかウォームアップエリアで待機すること。
- (4) ベンチへの持ち込み物について
 - ①ドリンクケース、救急箱、ボール、ボールカゴ、防寒具入れなど試合に関係するものに限る。なお、入れ物は個人別でもチームでまとめてもよい。
 - ②うちわ類は持ち込み可とするがタイムアウト時やセット間のみ使用できる。
- (5) 持ち込み物の保管場所について
 - ①ドリンクケース、救急箱等でバッグなどの柔らかい入れ物であれば椅子の下か椅子の間に置いてよい。
 - ②椅子の下や椅子の間に置けないものはバッグなど柔らかい入れ物に限り1個だけベンチ横に置くことができる。
 - ③ベンチに置けないものはウォームアップエリアか競技エリア外に置くこと。
- (6) 交代選手の待機場所について
 - ①交代に備えベンチで待機するか監督席の右横に一時的（2～3ラリー）に座って待機してもよい。
- (7) セーフティタイムアウト（STO）について
 - ※以下、「日小連2026年度競技取り扱いについて」の記載内容を要約したものである。
 - ①2026年度より小学生ルールからテクニカルタイムアウトが削除され競技の取り扱いになった。
STOは選手の健康と安全のため適用されるものであり、選手の給水や健康観察を最優先させること。
 - ②選手はベンチ横からウォームアップエリアの間に30秒間とどまること。
 - ③STO中のウォームアップは不可とする。
 - ④ベンチスタッフの声掛けは健康観察目的とし試合に対する作戦・指示等を伝達しないこと。
 - ⑤STOは第1・第2セットは11点目、第3セットは8点目に適用する。
デュースが続く場合、第1・第2セットは31点目に適用し、以降は10点毎に適用する。第3セットは21点目に適用し、以降は7点毎に適用する。
 - ⑥暑い時期の大会で選手の健康と安全に影響があると大会役員が判断した場合は第1・第2セットは7点目と14点目、第3セットは8点目に適用する。
デュースが続く場合、第1・第2セットは25点目に適用し、以降は7点毎に適用する。第3セットは21点目に適用し、以降は7点毎に適用する。
 - ⑦適用タイミングを逃した場合は気付いた時点で状況に応じ適用すること。
- (8) 混合部門の試合について
 - ①試合中のコート内が常に混合となるように選手交代に十分注意すること。
 - ②混合状態でなくなった場合は、不法な選手交代として取り扱う。
 - ③混合状態でなかったことがセット終了後に判明してもそのセットは成立する。
また、試合終了後に判明してもその試合は成立する。

6. 試合時のマナーについて

(1) ベンチスタッフのマナーについて

- ① タオルを首にかける、ゲーム中にうちわであおぐ等のないよう気をつけること。
- ② 選手への暴言や審判への抗議・暴言は固く禁止する。

(2) 応援マナーについて

- ① 自チーム、相手チームに限らず選手が委縮するような大きな声や音を出さないよう配慮すること。
- ② 審判（線審）へ判定に対する批判・暴言をしないこと。
- ③ 大きな音の出る鳴り物（太鼓、ラッパ、大きなメガホン、先割れメガホン）を禁止する。また、鳴り物等で手すりなど施設の物を叩かないこと。
- ④ ペットボトルを利用した鳴り物は破損して中身が飛び散ることがあるので禁止する。
- ⑤ 応援の声や音が大きくホイッスルが聞こえにくいなど試合の進行に影響があると審判が判断した場合は審判から監督に声や音を抑えるように指示することがある。その際、監督は直ちに応援団に対して指示内容を伝え対応すること。
- ⑥ 応援場所はギャラリー最前列とする。人数が多く2列目など広く使用したい場合はその場所の待機チームに配慮を行い了承を得ること。
※自チームの待機場所に一時的に移動してもらうなど。
- ⑦ 応援場所はセット毎に移動してもよい
- ⑧ 応援マナーが守られていないと判断した場合は審判や役員から該当チームの監督に対して注意を行う。監督は直ちに応援団に注意内容を伝え対応すること。

7. 試合球について

試合球は5年生大会～ECCジュニアカップまでを1サイクルとしてミカサ、モルテンを交互に使用する。
詳細は以下の表による。

大会名	偶数年度		奇数年度	
	男子／混合	女子	男子／混合	女子
全日本大会岡山県大会	ミカサ	モルテン	モルテン	ミカサ
ECCジュニアカップ	ミカサ	モルテン	モルテン	ミカサ
ブロック別五年生大会	モルテン	ミカサ	ミカサ	モルテン
OHK杯新人大会	モルテン	ミカサ	ミカサ	モルテン